

研究キーワード

心理教育, 異文化, サブカルチャー

藤田恵津子

教授

FUJITA, Etsuko

所属…環境学部 環境学科

環境学部

Profile

■主な担当科目

教育心理学, 特別支援教育の理論と実践, 生徒・進路指導論

■研究者略歴

2002(平成14)年 3月	京都教育大学大学院教育研究科学校教育専修教育臨床心理学分野修了(教育学修士)
2002(平成14)年 4月	京都教育大学附属桃山中学校帰国生徒学級相談室 相談員(～2011年)
2004(平成16)年 4月	大阪府・市立学校 スクールカウンセラー(～2012年)
2004(平成16)年 4月	滋賀県警察本部生活安全部少年課大津少年サポートセンター 少年相談専門員(～2012年)
2005(平成17)年 4月	大阪府私立幼稚園連盟キンダーカウンセラー(～現在)
2007(平成19)年 4月	神戸親和女子大学教育専攻科非常勤講師(～2012年)
2007(平成19)年 4月	京都教育大学教育学部非常勤講師(～2012年)
2012(平成24)年 4月	鳥取環境大学環境学部環境学科講師
2013(平成25)年10月	鳥取環境大学環境学部環境学科准教授
2015(平成27)年 4月	公立鳥取環境大学環境学部環境学科准教授
2024(令和6)年 4月	公立鳥取環境大学環境学部環境学科教授, 人間形成教育センター教授

Research

■取得学位

教育学修士(京都教育大学)

■専門分野

臨床心理学, 教育心理学, 発達心理学

■現在の研究テーマ

・心理教育(怒りのマネージメント, ストレス・マネージメント) 個別カウンセリングに加え, 日常生活に必要な心理的知識やコミュニケーション・スキルは心の健康のために有益なことである。
・心理臨床とサブカルチャー 「思春期の成長」「大人のセルフケア」としての役割をもつサブカルチャーを心理臨床的視点から考える。
・異文化適応 定移住による多様な文化背景をもつ子どもが増加しており, 学習や対人関係, アイデンティティ, 適応など課題も複雑化している。心理職は文化の多様性を理解した上で, 彼らのより良い発達や環境にかかわっていくことが求められている。

■所属学会

日本心理臨床学会, 日本教育心理学会

■資格

公認心理師, 臨床心理士

Data

■研究等活動

【著書】

- ・「改訂版はじめて学ぶ教育相談・生徒指導」(共著), 2024年3月, 金子書房
- ・「サブカルチャーのこころ オタクなカウンセラーがまじめに語ってみた」(共著), 2023年5月, 木立の文庫
- ・「学校カウンセリング入門」(共著), 2016年9月, ミネルヴァ書房

【論文】

- ・「『鳥のお墓に入りたい』と訴える女性との面接過程」, 2021年3月, 京都教育大学心理教育相談室紀要第18号
- ・「一卵性双生児の母親面接」, 2020年3月, 京都教育大学心理教育相談室紀要第17号
- ・「自分の人生を振り返る高齢女性の面接過程」, 2019年3月, 京都教育大学心理教育相談室紀要第16号
- ・「自分のキャリアを模索する青年期女性の面接過程」, 2018年3月, 京都教育大学心理教育相談室紀要第15号
- ・「摂食障害を抱える母親の面接過程」, 2017年3月, 京都教育大学心理教育相談室紀要第14号
- ・「明確な主訴を持たない母親の面接過程」, 2016年3月, 京都教育大学心理教育相談室紀要第13号

■社会貢献活動

- ・鳥取県青少年問題協議会委員
- ・大阪府私立幼稚園連盟キンダーカウンセラー
- ・大阪府臨床心理士会「こころの健康電話相談」相談員
- ・大阪弁護士会「こどもの日無料電話相談」相談員
- ・京都教育大学総合教育臨床センター教育臨床心理実践拠点公開講演会講師「多文化を生きる子どもの心理臨床的援助」